



# 移転先の見通し、立たず

## 吉田市議 「天体観察室」設置を求める



←天文台廃止を告げる看板

9月定例会の一般質問(9月13日)で吉田おさむ市議は、池多地区・三熊の市天文台について取り上げました。

市は2018年12月に「天体観察室」プラネタリウム更新基本計画」を策定し「まちなか」への移転の方向を打ち出しましたが、その時点で地元には「基本計画」を何ら説明していません。

池多地区自治振興会等には、昨年3月定例会の開会数日前になって初めて訪れ、「廃止するので了解を」という「通告」



## 「青い自転車」への「アヴィル」市1.6億 市長文化費1.1億 広告料など見直しを

2010年の導入からこれまで、自転車及びステーション、広告パネル増設などハード面の補助金が計約2億7千万円、広告料などに1億6300万円、合わせて4億3千万円を超え、この他に市民文化事業団が支払っている広告料も9年間で1億1200万円にもなっている



「雪で使えない時も24時間電気を消費(年間約8万7千円)」「一般家庭20軒分くらいの電気を消費(44・3トンのCO2排出に相当)」「1台あたり1日0.89回、1回あたり平均9・14分」

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

「地方自治法」の原則にも反する」と指摘し、これを続けるのかたがだしました。

家庭ごみ有料化、なぜ減量化につながる」

給食費月500円UP 値上げ回避を

赤星市議は、9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

赤星市議は、9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

「後期計画」の見直しを

赤星市議は、9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

赤星市議は、9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

## 赤星市議が提起

市議団、11/29 緊急申し入れ

# 「福祉灯油」が実現

## 住民税非課税世帯等に5,000円



高値が続く灯油やガソリン (2022.1.15撮影)

赤星市議は、「原油高騰により食糧品や様々な物資が値上がりし市民生活が圧迫されている」として、所得の低い世帯に灯油購入費の補助を行うことを求めました。福祉保健部長が

赤星市議は、「原油高騰により食糧品や様々な物資が値上がりし市民生活が圧迫されている」として、所得の低い世帯に灯油購入費の補助を行うことを求めました。福祉保健部長が

## 北代「縄文館」の空調

長岡地区にある「北代縄文館」のエアコン設備が3年間も故障のままになっています。

## 2022年度予算要望

気候変動、学校再編「生理の貧困」対策など



今本副市長に手渡し、懇談 (12/24)

身近な地域要望も 要望書には、49項目の地域要望も含まれています。

## 第2次 「総合計画・後期基本計画」

吉田市議「コンパクトシティ」の見直しを